
未来と過去と後悔と

小宮つばさ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

未来と過去と後悔と

【Nコード】

N2146B

【作者名】

小宮つばさ

【あらすじ】

「未来を見てみたい?」: 突然の友人の言葉。: 何を言っているか分からなかった。: 何を意味するのか分からなかった。: そして半年後

突然、友人はこんなことを聞いてきた。

「なあ、未来って見てみたいか？」

「…未来？」

「そ、未来」

そういう友人には別段変わったところはなく、いつものように淡々と話した。

「…お前は見たいのか？」

「いや、全然」

友人は全く表情を変えずに答えた。

「なんで」

「怖いだろ？」

十年後を見たいと思っても、実は自分には十年後がなかったりしたら？」

「……………」

「自分の未来が、半年後までしかなかったら？」

「……………」

「運悪く、自分が死ぬところをみたら？」

「……………」

「嫌なことが待ち構えていたら？」

「…はあ……」

なんでいきなりそのようなことを言うのか、私には見当もつかなかった。

「いやだろ？」

「そうなる可能性の方がずっと高いし」

「…んで、見たくない、と」

「そ」

「じゃあ、なんでそういうこと聞くんだよ」

「過去に帰りたいたい…思うか？」

私の質問に答えず、友人は話を変えた。

「……………過去…？」

「そ、過去」

相変わらず、友人は表情を変えない。

「過去に戻って過ちをなかつたことにしたりとかさ、いろんな事できるじゃん」

「じゃ、お前戻りたいの？」

「いや、全然」

友人は即答した。

「過ちがあるからこそ、次にそれを犯さないように出来るだろ？」

大きなことで言ったら、過去に戻って原爆を止めたら、今は第三次世界大戦かもしれない」

「はあ…」

「後悔があるから、人生楽しいんじゃないかな？」

俺は今、いろんなこと後悔しているよ。

それが、俺が今生きているって事」

「…わけわかんね」

私がそう言うと友人は笑った。

「かもね」

「で、なんでそんなこと聞くんだよ」

友人は一拍置いて、答えた。

「そうおもったからさ」

「…お前、変」

友人はまた笑った。

半年後…

その友人は死んだ。

あっさりと。

車にはねられて死んだ。

分かれ道で、私と別れた直後だった。
そして私は半年前の会話を思い出す。

『十年後を見たいと思っても、実は自分には十年後がなかったりしたら？』

『自分の未来が、半年後までしかなかったら？』

もしかしたら…

友人は知っていたのかもしれない。

だから私に言ったのだろうか。

確かめることは出来ない。

もう死んでしまったから。

もう居ないから。

もしも…

半年前に戻れるのなら…

私は聞くだろうか？

『未来を見たのか？』と…

聞くだろうか？

あの分かれ道に戻れるのなら…

意地でも友人が行くのを止めるだろうか？

いや…

戻りたくない。

なぜなら、私は…

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2146b/>

未来と過去と後悔と

2011年1月18日14時35分発行